

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 筒井 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

・男女共に、「運動やスポーツすることが好き」と答える児童が多く、特に男子の方が「運動やスポーツが大切である」「体力に自信がある」と答える児童の割合が高い。
 ・体育科の授業は「楽しいと感じている」児童の割合が高く、「授業のめあてが示されている」「授業の最後に振り返る活動を行っている」と回答している児童の割合も高い。めあてを意識して学習に取り組むとともに振り返りが十分行われている。また、「協力して課題を解決する」と答えている児童の割合も高く、友達や先生に教えてもらうことで、できるようになったと自覚し、運動を楽しんでいることが伺える。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・体育の授業では、各学年の課題に応じた準備運動を最初の5分間に取り入れる。
 ・体育の授業では必ずめあてを提示し、児童がめあてをつかんでから運動を行うようにする。授業では、十分な運動時間の確保に努める。終末で、振り返りの活動を行い、本時の成果と課題を確かめるようにする。
 ・体育の授業力向上や体力アップに向けて職員研修を行う。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

・期間を決めて「のびっこタイム」を設定する。自分の目標を設定し、目標達成に向けて取り組むようにする。また、縦割りの異学年グループで長縄跳びなどの運動を行い、記録の伸びを意識させるとともに、集団で運動する楽しさを味わわせる。